平成28年度厚生労働省補助事業「難病患者サポート事業」
患者（相談）支援事業「重症難病患者のコミュニケーション支援者養成講座」
一般社団法人日本難病・疾病団体協議会主催／NPO法人ICT救助隊共催

難病コミュニケーション支援講座・名古屋のご案内

（同時開催:『SMA(脊髄性筋萎縮症)家族の会』関西支部第26回定例会）

・力が弱いためスイッチ操作がうまくできない……
・パソコンのキーボードやマウスが使いづらい、使えない……
・タブレットやスマホを使いたいけれど、手指の機能障害によりうまくいかない……など

SMAなどの重篤な疾患のお子さんたちは、コミュニケーションの確保が大変難しいという現状があります。そこで、支援者に十分な知識を持ってもらうための支援者向け講座と、スイッチやコミュニケーション機器の操作に悩む患者さんとご家族への相談会を開催します。

レッツ・チャットや伝の心など患者さんがよく使われている機器だけでなく、視線入力や最新の機器の体験、おもちゃの工夫やスイッチの適合などの内容です。

1. 日　時：2016年12月18日(日)　12:30～16:00（受付開始は12:00）
　　終了後に懇親会（会費制、1時間程度）あり

2. 会　場：東桜会館 集会室　（〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜2丁目6-30）
　　→http://www.chudenfudosan.co.jp/bunka/higashisakura

3. プログラム
　当事者ご家族だけでなく、支援者の皆さんも機器体験やスイッチ相談ができます。
　【主な展示・体験機器】
　レッツ・チャット、伝の心、話想、iOSのスイッチコントロール、指伝話、
　おもちゃとスイッチの工夫、necomimiとこころかさね
　視線入力（マイトビーC15、miyasuku EyeCon、デジタル透明文字盤OriHime eye）
　1スイッチで遊べるゲームとEyeMot（島根大学助教　伊藤史人先生）
　スイッチの適合と活用ポイント（八雲病院作業療法士　田中栄一先生）

4. 参加費：無料（懇親会参加希望の場合は1家族500円を頂戴します。）

5. お申し込み方法
　・氏名、参加人数（大人○人、子ども○人）
　・連絡先アドレスまたは電話番号
　・所属（SMA家族の会会員、その他）
　・懇親会の参加・不参加
　を記載し、【名古屋参加】とタイトルをつけたメールを
　SMA家族の会事務局（ smajimkyoku@sma-kazoku.net ）にお送りください.

その他、お問い合わせはSMA家族の会事務局まで。

主　催：一般社団法人日本難病・疾病団体協議会
共　催：NPO法人ICT救助隊
協　力：SMA(脊髄性筋萎縮症)家族の会